

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
A209	日本語上級 I	2年	講義	2	松田勇一
<b>授業概要</b> 日本語能力試験 N2～N1 レベルの「文法」「文字」「語彙」の能力を高めるため、練習問題に取り組む。具体的には、教科書に沿って練習問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、着実な基礎の構築を目指す。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> ・日本語能力試験 N2～N1 レベルの「文法」「文字」「語彙」知識を理解し、その知識を適切に運用できる。(DP1・DP2・DP4)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	時の表現(1)	同時進行			
2	時の表現(2)	物事の直後を表す			
3	時の表現(3)	始まりや終わりを表す			
4	接続表現(1)	順接:条件を表す			
5	接続表現(2)	順接:理由目的等を表す			
6	接続表現(3)	逆接の表現			
7	動作・作用の表現(1)	後に来る状況を表す			
8	動作・作用の表現(2)	比較対象の表現			
9	動作・作用の表現(3)	組にして用いる表現			
10	状況や様子の表現(1)	「ごとく」「ずくめ」「っぱなし」「ばかりに」			
11	状況や様子の表現(2)	「ともなしに」「ながらに」「なりに」			
12	状況や様子の表現(3)	「にあって」「にいたる」「にたえない」			
13	状況や様子の表現(4)	「にたる」「まみれ」「めく」「をもって」			
14	強調する表現(1)	「あつての」「からある」「ごとき」			
15	強調する表現(2)	「すら」「ただ」「のみ」「たりとも」			
16	強調する表現(3)	「ときたら」「でなくてなんであろう」			
17	強調する表現(4)	「とは」「にして」「ばこそ」			

18	強調する表現(5)	「まじき」「をにおいて」「んがため」
19	否定の表現(1)	「てやまない」「といたらありはしない」
20	否定の表現(2)	「にはあたらぬ」「にかたくない」
21	否定の表現(3)	「べからず」「までもなく」
22	否定の表現(4)	「きんじえない」「ずにはおかない」
23	否定の表現(5)	「ずにはいられない」「ずにはすまない」
24	否定の表現(6)	「ないものでもない」「ないではすまない」
25	文末表現(1)	「きらいがある」「しまつだ」
26	文末表現(2)	「というところだ」「といったところだ」
27	文末表現(3)	「ばそれまでだ」「までのことだ」「をよぎなくされる」
28	機能的表現(1)	「なんてよくいえる」「ないともかぎらない」
29	機能的表現(2)	「にこしたことはない」「もさしつかえない」
30	機能的表現(3)	「てはかなわない」「てみせる」

準備学修(授業外の自己学修)

毎回の授業では漢字語彙に関する小テストを行うので、しっかりと準備をすること。

成績評価の方法・基準(%表記)

漢字の小テスト 40%+授業での発言・発表 10%+期末試験 50%

観点	S	A	B	C
日本語能力試験 N2～N1 レベルの「文法」「文字」「語彙」知識に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

講義において指示する。

参考書等

講義において指示する。

履修上の注意・学修支援

出席が 3 分の 2 以上に満たない者については、成績認定を行わない。

本科目は、留学生が対象である。そのため、日本人学生は受講することができない。

欠席の場合、やむを得ない理由以外は、小テストは 0 点となる。